

(1) 少子化の進行をふまえた今後の学校施設のあり方

概要

1児童数・学級数、建築年数

学校名	建築年数		H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34
盛小	5	児童数	145	137	134	128	131	134	125	148
		学級数	6	6	6	6	6	6	6	6
大船渡小	37	児童数	175	157	158	145	131	124	127	117
		学級数	7	6	6	6	6	6	6	6
末崎小	43	児童数	153	147	131	136	131	124	132	125
		学級数	6	6	6	6	6	6	6	6
赤崎小	-	児童数	76	70	114	113	115	114	109	105
		学級数	6	6	6	6	6	6	6	6
蛸ノ浦小	45	児童数	47	44						
		学級数	4	5						
猪川小	36	児童数	313	318	318	310	311	305	324	324
		学級数	12	12	12	12	12	12	12	12
立根小	24	児童数	209	194	173	171	170	174	157	197
		学級数	10	8	7	8	7	7	7	7
日頃市小	35	児童数	67	70	69	66	66	61	57	62
		学級数	6	6	6	6	6	6	6	6
大船渡北小	40	児童数	167	177	186	192	178	166	171	140
		学級数	8	7	7	7	6	6	6	6
綾里小	17	児童数	109	102	94	99	93	90	90	100
		学級数	6	6	6	6	6	6	6	6
越喜来小	-	児童数	92	88	89	87	91	95	87	87
		学級数	6	6	6	6	6	6	6	6
吉浜小	18	児童数	68	65	59	54	53	47	44	43
		学級数	6	6	5	5	4	4	4	4
第一中	53	生徒数	355	354	344	351	338	316	316	315
		学級数	12	11	11	11	10	9	10	10
大船渡中	33	生徒数	228	219	182	163	175	186	179	152
		学級数	8	7	6	6	6	6	6	6
末崎中	29	生徒数	89	90	98	87	78	69	66	68
		学級数	3	3	3	3	3	3	3	3
赤崎中	-	生徒数	93	78	71	67	61	53	56	54
		学級数	4	4	3	3	3	3	3	3
日頃市中	26	生徒数	37	34	31	35	35	35	32	39
		学級数	3	3	3	3	3	3	3	3
綾里中	37	生徒数	61	62	67	58	55	45	51	46
		学級数	3	3	3	3	3	3	3	3
越喜来中	57	生徒数	57	58	49	49	43	46	43	42
		学級数	3	3	3	3	3	3	3	3
吉浜中	25	生徒数	30	30	38	35	37	32	33	28
		学級数	3	3	3	3	3	3	3	3

7.5倍

11.3倍

・平成29年度以降の児童数・学級数は、推計値
・建築年数は、平成27年度末時点の校舎建築年数

現状

○ 当市における適正な学校規模（大船渡市立小中学校適正規模等基本方針）

小学校 学校規模は、原則として各学年1学級以上とし、複式学級の措置は可能な限り行わないよう努める。ただし、やむを得ず複式学級の措置が取られ、以降も継続となる見込みの場合は近隣の学校との統合を検討する。

中学校 学校規模は、社会生活への順応性の向上や多様な人間関係の構築機会の確保、一定程度の人数確保が求められる部活動の充実、各教科の専門性に係る教職員の確保等、ある程度の人数がまとまることで充実される教育環境が求められる。そのため、原則として各学年2学級以上とし、学級編成が可能な体制を整えるよう努める。

2校舎建築後の経過年数

平均建築年数 小学校 30 年、中学校 37 年。築 30 年以上が 11 校(全体の 55%)。経年劣化が課題。

3維持管理費（修繕費・委託料）の推移（単位：千円）

区分	24年度	25年度	26年度	27年度 (予算)	28年度 (予算)
小学校	26,459	12,674	12,203	14,700	10,800
中学校	18,549	8,218	15,299	7,523	9,600
計	45,008	20,892	27,502	22,223	20,400

学校統合や校舎新築等により、修繕費・委託料をはじめ、様々な経常経費削減が可能。